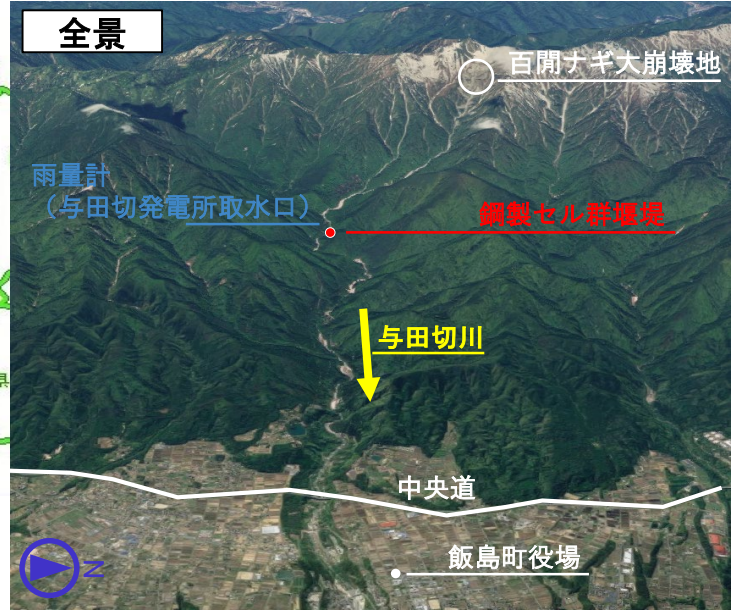


【施設効果事例】鋼製セル群堰堤(長野県上伊那郡飯島町)

災害発生日：令和4年9月1日
 降雨状況：連続雨量 87mm (参考値※)
 (8月29日21時～ 9月1日19時)
 時間最大雨量 18.5mm (参考値※)
 (9月1日14時～15時)
 ※長野県与田切発電所取水口設置の雨量計

発生箇所：長野県上伊那郡飯島町
 崩壊状況：土石流捕捉量 約10,000m³
 状況：天竜川水系与田切川にて、土石流が発生。鋼製セル群堰堤により、土砂を捕捉。下流への被害を未然に防ぎ、効果を発揮。



土石流発生前 (R4.4撮影)



土石流発生時 (R4.9.1)



土石流発生後 (R4.9.2)



崩壊地「百間ナギ」で発生したクラックについて

- 9月1日に発生した土石流への対応として、与田切川上流の崩壊地「百間ナギ」の調査を実施。
- 約17,000m³の岩盤崩壊を確認したが、砂防堰堤で土砂を捕捉し、下流の被害は確認されていない。
- 7月24日に確認されたクラックの変状は認められない。

